

# 2003年3月期 決算説明会

2003年6月3日(火)

CKD株式会社 取締役社長 神田草平

# 説明会のスケジュール

## 決算の概要説明 60分

- 1、2003年3月期 決算の概要
- 2、収益構造の変革
- 3、CKDの開発戦略
- 4、海外施策の狙い

## 質疑応答 30分

合計 1時間30分

# 1、決算の概要 (1)

平成 15年 3月期

決算短信 (連結)

平成 15年 5月 22日

## 1. 15年 3月期の連結業績(平成 14年 4月 1日 ~ 平成 15年 3月 31日)

(1)連結経営成績

(表示金額は百万円未満切捨)

	売上高		営業利益		経常利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
15年 3月期	58,114	1.7	1,997	51.8	1,765	40.9
14年 3月期	59,132	36.4	1,316	82.8	1,253	82.0

前年比

1,018 百万円

+ 681 百万円

+ 512 百万円

自動機械の減少

原価率、販管費改善

	当期純利益	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整 後1株当たり 当期純利益	株主資本 当期純利益率	総資本 経常利益率	売上高 経常利益率
	百万円 %	円 銭	円 銭	%	%	%
15年 3月期	2,657 107.0	41.89	38.53	11.4	2.8	3.0
14年 3月期	1,283 58.1	19.96	18.55	5.7	1.7	2.1

前年比

+ 1,374 百万円

+ 21円.93銭

+ 19円.98銭

+ 5.7%

+ 1.1%

+ 0.9%

厚生年金基金代行部分返上益 2,260百万円等々

## 2. 16年 3月期の連結業績予想(平成 15年 4月 1日 ~ 平成 16年 3月 31日)

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
中間期	30,700	950	500
通期	62,500	2,600	1,150

前年比

中間

+ 2,389 百万円

+ 293 百万円

1,856 百万円

+ 8.4 %

+ 44.6 %

78.8 %

通期

+ 4,386 百万円

+ 835 百万円

1,507 百万円

+ 7.5 %

+ 47.3 %

56.7 %

代行返上

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 19円15銭 (配当性向 47%)

# 1、決算の概要 (2)

## (2) 連結財政状態

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
15年 3月期	61,203	23,645	38.6	393.08
14年 3月期	65,383	22,921	35.1	360.77

(注) 期末発行済株式数 (連結) 15年 3月期 60,041,883 株 14年 3月期 63,534,493 株

前年比 4,180 百万円 + 724 百万円 + 3.5 % + 32円.31銭  
 6.4 % + 3.2 % + 10.0 % + 9.0 %

売掛債権、有形固定資産、繰延税金資産の減少

## (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
15年 3月期	9,067	834	7,351	5,367
14年 3月期	4,455	2,395	6,840	4,563

前年比 + 4,612 百万円 3,229 百万円 511 百万円 + 804 百万円  
 + 103.5 % - % - % + 17.6 %

14年 3月期 米国子会社売却による収入 5,624 百万円

## (5) 連結範囲及び持分法の適用の異動状況

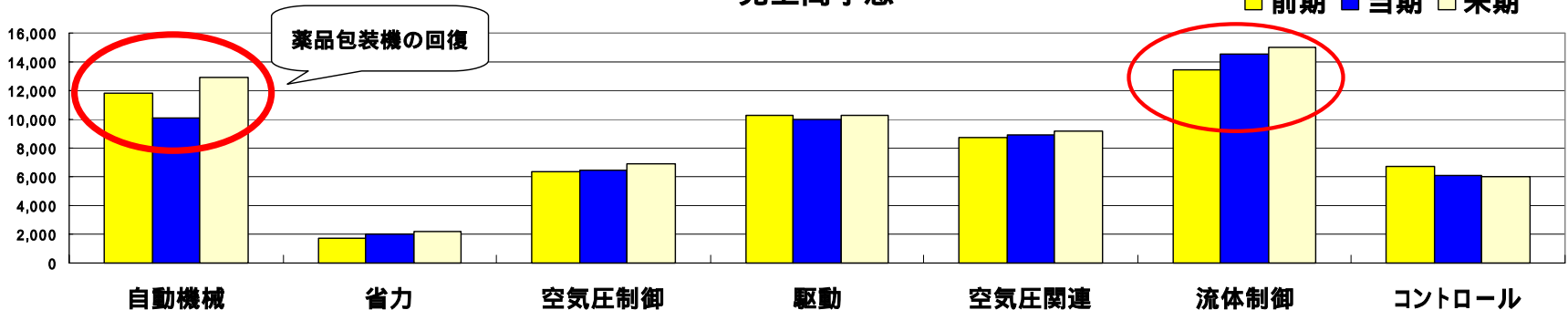
連結 (新規) 1社 CKD中国 (除外) 0社 持分法 (新規) 0社 (除外) 0社

# 1、決算の概要 (3) 機種別 売上高実績の推移

(単位:百万円)

期 別 機 種	2001年度 実績 (13.4.1 ~ 14.3.31)		2002年度 実績 (14.4.1 ~ 15.3.31)		前期対比 増減金額	前期対比 増減率	2003年度 予想 (15.4.1 ~ 16.3.31)		前期対比 増減金額	前期対比 増減率
	金 額	構成比	金 額	構成比			金 額	構成比		
自動機械装置	11,788	19.9%	10,121	17.4%	1,667	14.1%	12,900	20.6%	+ 2,779	+ 27.5%
省力機器	1,766	3.0%	2,044	3.5%	+ 278	+ 15.8%	2,200	3.5%	+ 156	+ 7.6%
空気圧制御機器	6,337	10.7%	6,489	11.2%	+ 152	+ 2.4%	6,900	11.0%	+ 411	+ 6.3%
駆動機器	10,252	17.3%	9,961	17.1%	291	2.8%	10,300	16.5%	+ 339	+ 3.4%
空気圧関連機器	8,763	14.8%	8,884	15.3%	+ 121	+ 1.4%	9,200	14.7%	+ 315	+ 3.5%
流体制御機器	13,455	22.8%	14,508	25.0%	+ 1,053	+ 7.8%	15,000	24.0%	+ 493	+ 3.4%
機器製品計	40,575	68.6%	41,886	72.1%	+ 1,311	+ 3.2%	43,600	69.8%	+ 1,714	+ 4.1%
コントロール機器	6,768	11.4%	6,107	10.5%	661	9.8%	6,000	9.6%	107	1.7%
合 計	59,132	100.0%	58,114	100.0%	1,018	1.7%	62,500	100.0%	+ 4,386	+ 7.5%

売上高予想



# 1、決算の概要 (4) 連結損益計算書 - 実績

(単位:百万円)

期別 科目	01年度 実績 (13.4.1 ~ 14.3.31)		02年度 実績 (14.4.1 ~ 15.3.31)				03年度 計画 (15.4.1 ~ 16.3.31)			
	金額	百分比	金額	百分比	01年度対比 増減金額	01年度対比	金額	百分比	01年度対比 増減金額	01年度対比
売上高	59,132	100.0	58,114	100.0	1,018	98.3	62,500	100.0	+ 4,386	107.5
売上原価	44,202	74.8	42,673	73.4	1,528	96.5	45,900	73.4	+ 3,227	107.6
売上総利益	14,930	25.2	15,440	26.6	+ 509	103.4	16,600	26.6	+ 1,160	107.5
販売費及び一般管理費	13,614	23.0	13,443	23.1	171	98.7	13,800	22.1	+ 357	102.7
営業利益	1,316	2.2	1,997	3.5	+ 681	151.8	2,800	4.6	+ 803	140.2
営業外収益	533	0.9	350	0.6	182	65.7	300	0.5	50	85.7
営業外損失	596	1.0	582	1.1	14	97.6	500	0.9	82	85.9
経常利益	1,253	2.1	1,765	3.0	+ 512	140.9	2,600	4.2	+ 835	147.3

## 通期予測の経常利益減少要因

・ 売上高減少による利益減少	257	自動機械の減少	+ 1,165	自動機械の回復
・ 売上原価率改善による利益増加	+ 765	74.8% 73.4% 1.4%減	5	売価ダウン
・ 販管費減少による利益増加	+ 171		357	売上高増、賃金カット等解除
・ 営業外損益悪化による利益減少	168	為替差額	+ 32	
計	+ 512		+ 835	

# 1、決算の概要 (5)

## 連結会社の固定費、変動費率推移

(単位:百万円)

	01通期	02 / 上	02 / 下	02通期	前期対比	03通期	前期対比
<b>1、固定費</b>							
人件費	20,167	10,030	10,231	20,261	+ 94	20,400	+ 139
経費	12,614	5,721	6,085	11,806	808	12,300	+ 494
計	32,781	15,751	16,316	32,067	714	32,700	+ 633
<b>2、材料費率</b>	41.9%	41.3%	40.5%	41.2%	0.7%	41.2%	+ 0.0%

### 人件費

- ・ 02年度 役員報酬、管理職、従業員給与、役職手当の**カット** ・ 上期**昇給凍結**  
 厚生年金基金**代行返上** 賞与追加 等々
- ・ 03年度 年金数理差異追加 自然減(定年退職者等) 等々

### 経費

- ・ 02年度 設備関連費、業務委託費減少 等々
- ・ 03年度 設備関連費、業務委託費増加 売上高増加による諸経費増加 等々

# 1、決算の概要 (6) 連結キャッシュ・フロー計算書

科目	期 別	前 期 (13.4.1 ~ 14.3.31)	当 期 (14.4.1 ~ 15.3.31)
		金 額	金 額
営業活動によるキャッシュ・フロー			
税金等調整前当期純利益		1,022	3,565
減価償却費		2,809	2,346
貸倒引当金の増減額(減少: )		178	120
退職給付引当金の増減額(減少: )		959	2,282
受取利息及び受取配当金		45	37
支払利息		424	276
投資有価証券評価損		76	375
有価証券売却損		-	-
固定資産処分損		100	82
固定資産売却益		100	5
売上債権の増減額(増加: )		11,117	1,772
たな卸資産の増減額(増加: )		1,605	507
仕入債務の増減額(減少: )		8,053	2,314
未払消費税等の増減額(減少: )		110	7
その他		1,000	687
小計		6,325	9,490
利息及び配当金の受取額		41	38
利息の支払額		443	282
法人税等の支払額		1,467	179
営業活動によるキャッシュ・フロー		4,455	9,067

厚生年金基金代行部分返上

受取手形債権の流動化

仕入債務の増加



# 1、決算の概要 (7) 連結キャッシュ・フロー計算書

科目	期別	前期 (13.4.1 ~ 14.3.31)	当期 (14.4.1 ~ 15.3.31)
		金額	金額
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>			
投資有価証券の取得による支出		191	65
投資有価証券の売却による収入		59	28
関係会社株式の売却 (前々期連結会計年度)による収入	米国子会社売却	5,624	-
有形固定資産の取得による支出		3,522	754
有形固定資産の売却による収入		424	113
子会社株式の取得による支出		-	161
その他		1	5
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		2,395	834
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>			
短期借入金純増減額(減少: )		3,556	1,368
長期借入れによる収入		14	1,140
長期借入金の返済による支出		2,274	4,937
転換社債の買入消却による支出		-	386
自己株式(単元未満株式等)の純増減額(増加: )		1	9
自己株式の取得による支出		357	1,157
親会社による配当金の支払額		580	570
少数株主への配当金の支払額		83	61
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		6,840	7,351
現金及び現金同等物に係る換算差額		139	77
<b>現金及び現金同等物の増減額(減少: )</b>		150	804
現金及び現金同等物の期首残高		4,412	4,563
<b>現金及び現金同等物の期末残高</b>		4,563	5,367

# 1、決算の概要 (8) 事業の種類別セグメント情報

前 期(平成13年4月1日 ~ 平成14年3月31日)

(単位:百万円)

	自動機械 部 門	機器部門	コントロールズ' 部 門	計	消去又は全社	連 結
. 売上高及び営業損益						
売 上 高						
(1) 外部顧客に対する売上高	11,788	40,575	6,768	59,132	-	59,132
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	49	202	0	252	(252)	-
計	11,838	40,778	6,768	59,385	(252)	59,132
営 業 費 用	9,765	39,537	6,402	55,704	2,111	57,816
営 業 利 益	2,072	1,241	366	3,680	(2,364)	1,316

当 期(平成14年4月1日 ~ 平成15年3月31日)

(単位:百万円)

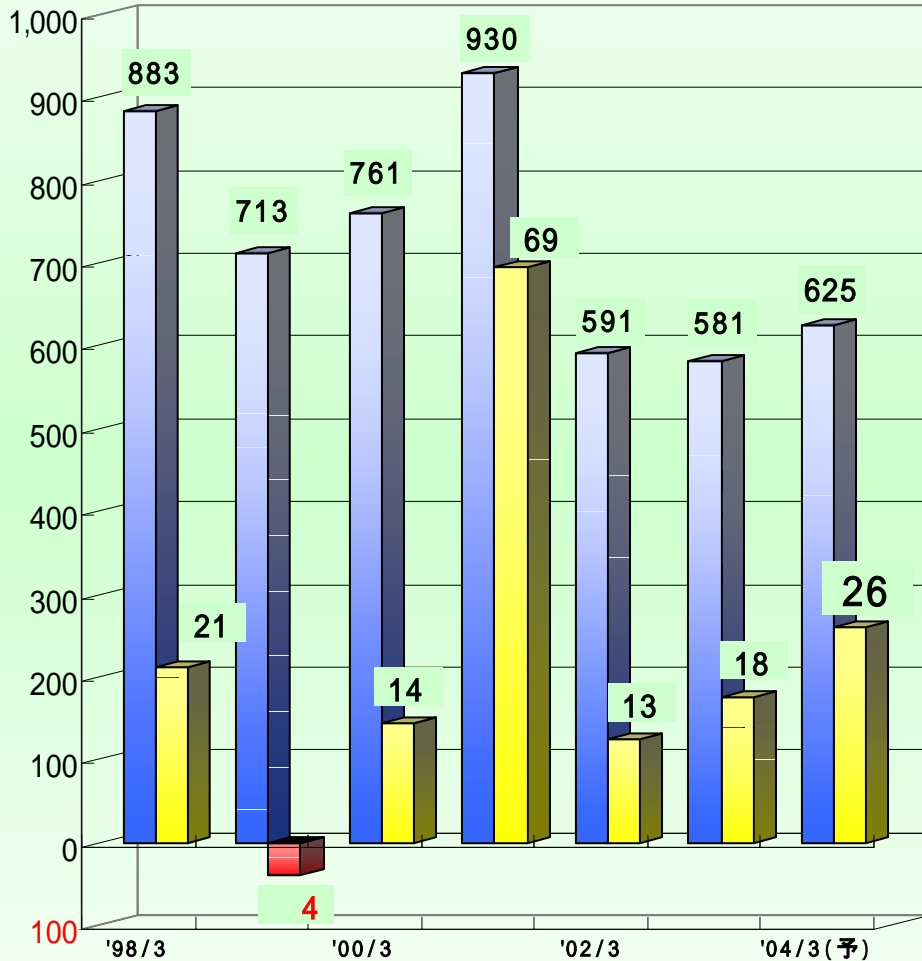
	自動機械 部 門	機器部門	コントロールズ' 部 門	計	消去又は全社	連 結
. 売上高及び営業損益						
売 上 高						
(1) 外部顧客に対する売上高	10,121	41,886	6,106	58,114	-	58,114
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	61	250	86	398	(398)	-
計	10,183	42,136	6,192	58,512	(398)	58,114
営 業 費 用	8,888	39,485	5,820	54,194	1,922	56,116
営 業 利 益	1,294	2,651	372	4,317	(2,320)	1,997

前期比 売 上 高	1,655 ( 14.0%)	+ 1,358 (+ 3.3%)	576 ( 8.5%)	873 ( 1.5%)
営 業 利 益	778 ( 37.5%)	+ 1,410 (+ 113.6%)	+ 6 (+ 1.6%)	+ 637 (+ 17.3%)

## 2、収益構造の変革 (1)

### (1) 2002年度 「コストダウンと新市場開拓による 収益構造の強化」

■ 売上高 ■ 経常利益



#### 生産改革

- ・ 海外生産拠点の活用
- ・ 生産拠点の整備
- ・ Fコスト(クレーム)の低減

#### 資材調達改革

(目標：3年内で20%の購入費削減)

- ・ 購買CD
- ・ 海外調達
- ・ 集中購買
- ・ 外注再編成

#### 商品開発の強化

#### 新市場の開拓

- ・ 業界業種ごとの重点市場開拓
- ・ 新商品での新市場開拓
- ・ 海外市場への販売開拓

### (2) 2003年度

#### 「新たなる挑戦」

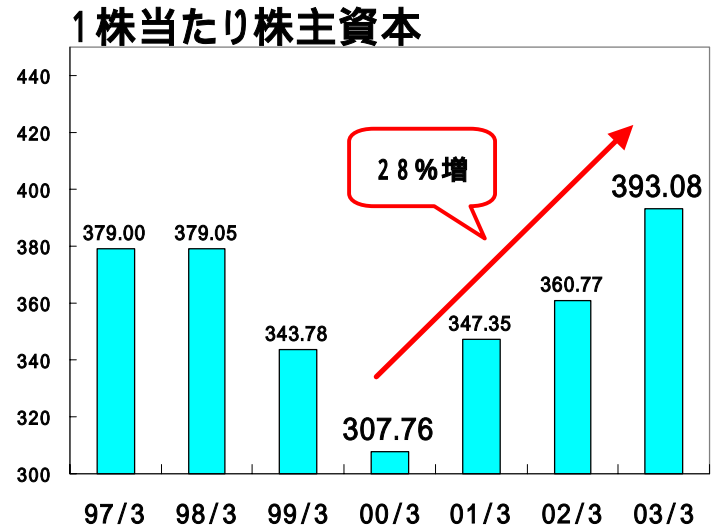
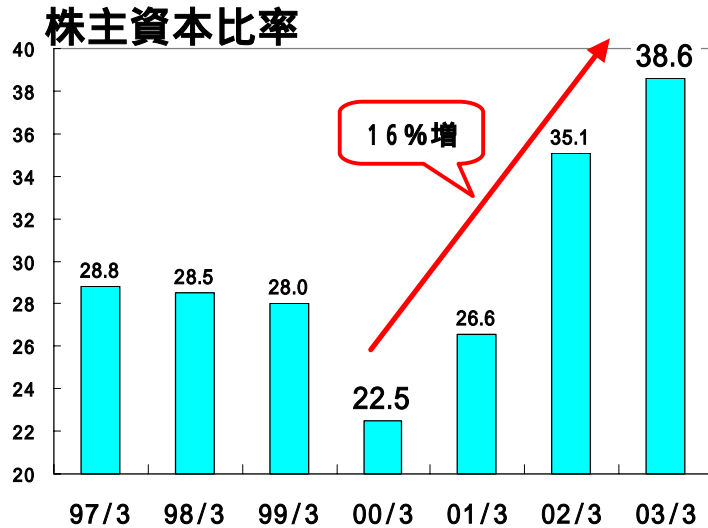
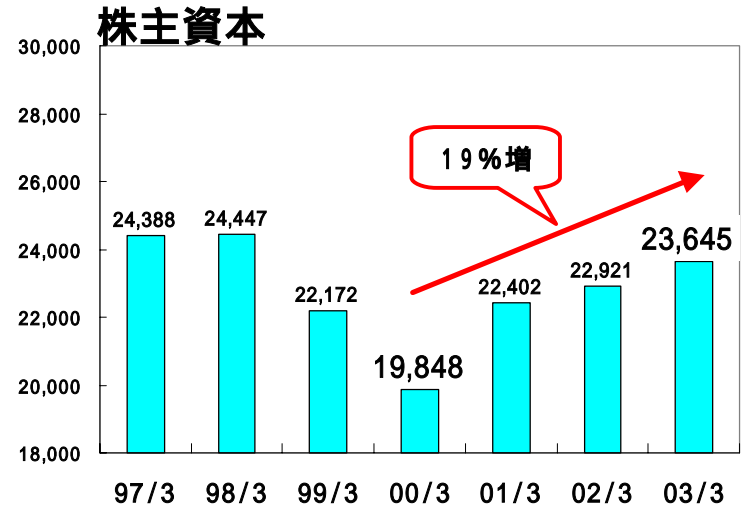
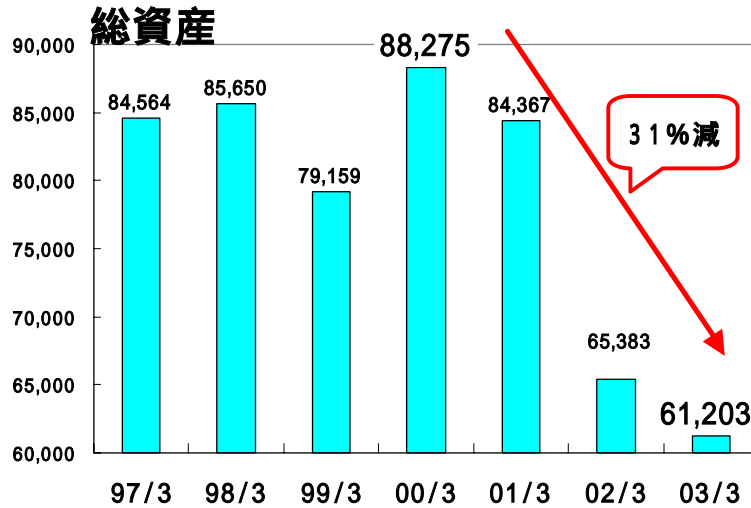
海外を視野に入れた事業展開と商品力の強化

#### 新営業体制

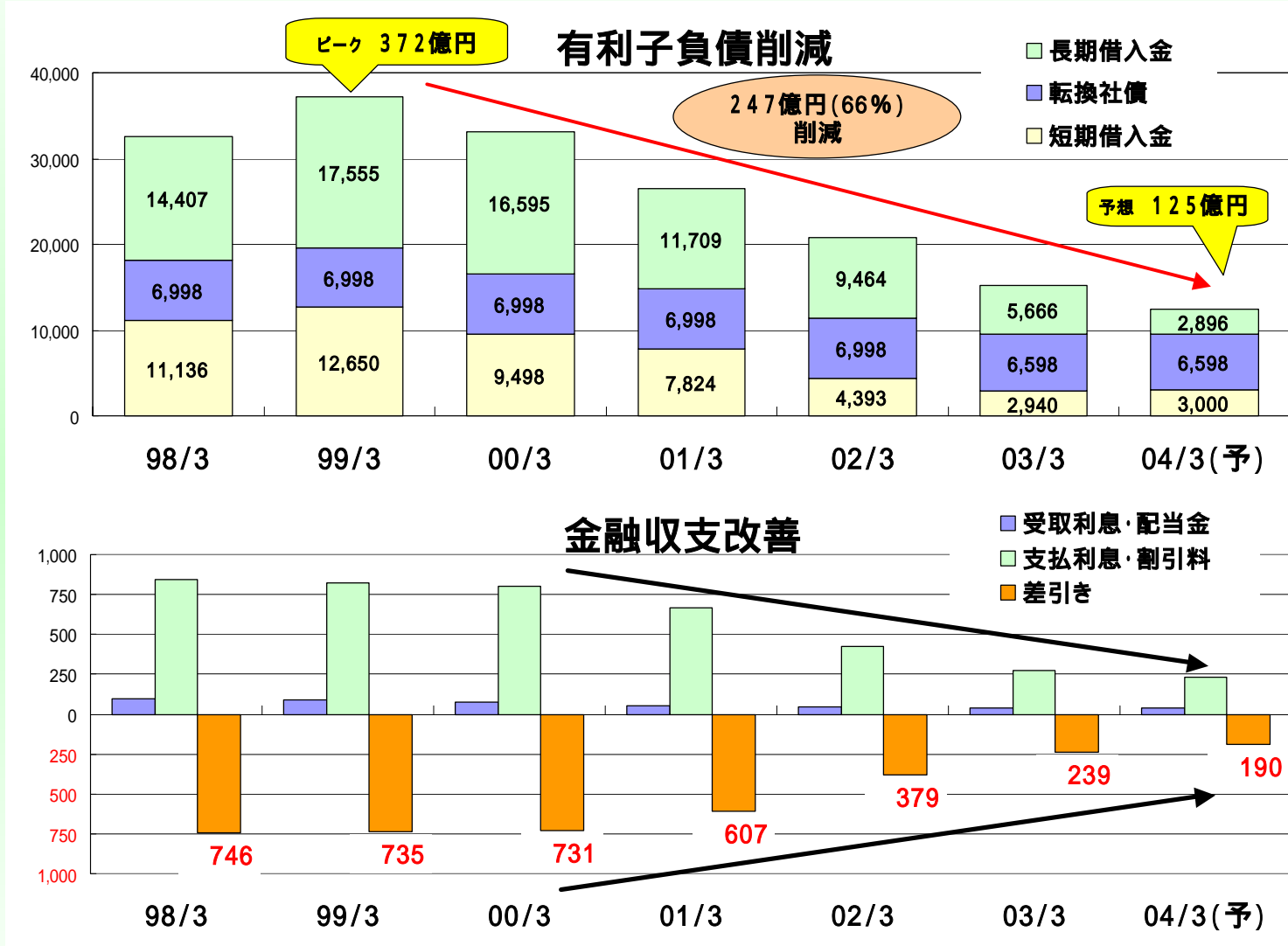
#### グローバル展開

#### トータルコストダウン

## 2、収益構造の変革 (2) 財務体質の強化

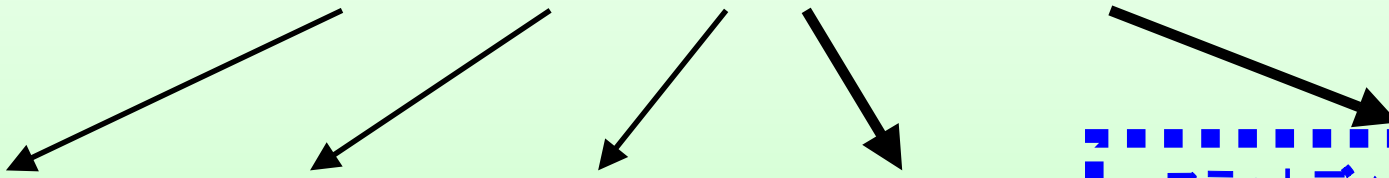


## 2、収益構造の変革 (3) 有利子負債の圧縮



### 3、CKDの開発戦略

最も得意とする「**流体制御**」 & 「**自動化**」の技術  
 (あらゆる産業・業界に対応可能な技術)



**電機**  
 (組立ライン)

**工作機**  
 (機能部品)

**自動車**  
 (組立ライン)

**半導体**  
 (製造装置)

- ・フラットディスプレイ分野
- ・エネルギー分野  
 (燃料電池・2次電池等)
- ・バイオテクノロジー分野
- ・医療・医薬分野 etc.

### 活況が予測される市場(業界)への参入



**CKD 技術総合力の活用**

- ・機械設計技術
- ・電気・電子制御技術
- ・画像処理技術
- ・空圧制御技術
- ・流体制御技術
- ・生産技術 etc.

+

**CKD 販売実績の活用**

- ・自動車業界
- ・医薬品業界
- ・半導体業界
- ・家電業界
- ・工作機業界
- ・電子機器業界 etc.

### 3、CKDの開発戦略

### 開発施策の狙い(1)

## 医療・医薬業界

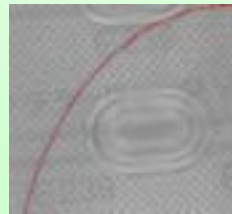
### ・フラッシュパトリ(新型パトリ)

新型PTPに内蔵できる操作性の良い検査装置

カメラ、照明、画像装置、Windowsといった

構成要素を一体化した総合検査装置システムPP  
フィルム対応で、エリアタイプのメガピクセルCCDに  
より鮮明な検査が可能。

03年度予定 6億円



## 半導体業界



### ・VIP1000

新開発のカラー位相シフト方式を開発・採用し、  
 従来機(VIP400)に比べて測定スピードを2倍  
 高速化した**高速3次元はんだ印刷検査機**。

「液晶シャッター方式」と比べ、画像の立体  
処理に必要な撮影回数を三分の一以下に低減、  
測定時間を大幅に短縮した。

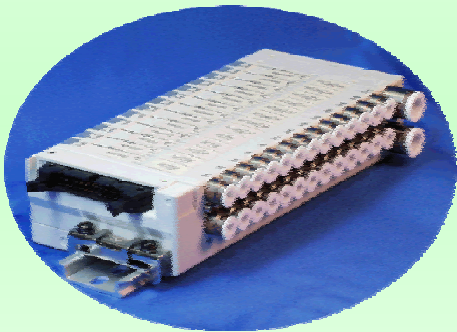
03年度予定 10億円

### 3、CKDの開発戦略 開発施策の狙い(2)

## 半導体業界

#### ・クリーンフィルタ FCS50 (インラインフィルタ)

禁油仕様でクリーンルーム内での組立・検査・包装までの一貫生産。継手内蔵のコンパクトサイズで 80L/minの大流量の確保。高ろ過精度(0.01 $\mu$ m, 除去効率99.99%)



#### ・小型電磁弁MN4E0

半導体前工程市場への小型化・高性能化を狙いの電磁弁。2002年4月15日より発売開始

#### ・小型流量センサ

高い応答性と省スペースを実現する超小型ガス流量センサ。空気、窒素などの非腐食性ガス、不活性ガス用として吸着確認目的やリークチェック用途、分析機器への応用としてのセンサ。





## フラットディスプレイ分野

### ・不活性ガス循環精製装置(開発)

ガス・リサイクル装置の小型・高性能化要求に対応する為、モジュール方式の不活性ガス循環精製装置を開発。

電子機器の信頼性向上・長寿命化の為、生産ラインの超乾燥安定環境を維持する為、窒素ガスやアルゴンガスの不活性ガス環境をローコストで維持。



### ・不活性ガス循環精製装置(用途)

有機ELの封止工程・リチウムイオン電池・リチウムポリマー電池の生産工程、HIDランプ(ディスチャージランプ)封止工程・水晶発信子封止工程等、幅広い分野で使用。

市場規模は2～3百億円規模と推定。

有機EL向けからスタートし順次HID、リチウム電池向けに拡大。

## 4、海外施策の狙い

### 販売

- ・ **中国 CKD上海の設立 (2001年10月)**  
本格的な販売活動を開始、成長市場における自前の販売チャネルの整備。
- ・ **韓国 CKD韓国の設立 (2002年8月)**  
半導体と自動車を中心とした市場の開拓と深耕。
- ・ **北米 CKD USAの事業拡大**  
半導体を中心にした現地企業の攻略と日系企業へのサービス活動の強化。
- ・ **欧州 主要代理店の育成強化**  
主要国での市場開拓と日系企業へのサービス活動体制の整備。

### 生産

- ・ **タイ 生産拡大**  
冷凍式ドライアの現地生産に続き小型チラ - の生産準備。
- ・ **台湾・マレーシア 有効活用**  
自動機械やエアーシリンダなど特定機種 of 現地生産。
- ・ **CKD中国の設立(2003年1月2日 設立)**  
全世界へ商品供給をするグローバル生産拠点。

# CKD中国



CKD(中国)有限公司 完成予想図

会社名	CKD(中国)有限公司
住所	中国江蘇省無錫市 無錫国家新技産業 開發区101-C号地塊
資本金	1,250万USDドル
経営	外資独資経営
会社設立	2003年1月2日
土地面積	約15万m <sup>2</sup>
工場面積	第1期工事総面積 18,000 m <sup>2</sup> (2003年11月完成予定)
厚生棟	総面積 4,500 m <sup>2</sup>
代表者	董事長 小笠原 良成 總經理 三浦 清和
事業内容	空圧機器、制御機器、自動機械の製造